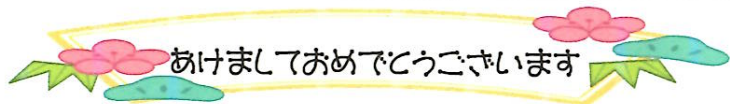




としよしつだより

志布志市立野神小学校



新しい年を迎え、3学期がスタートしました。「一年の計は元旦にあり」といいます。さあ今年、どんな目標をたてましたか？

今年、辰年だけに天高く躍進できる1年で、新しい事を始めると成功するといわれていて、とても縁起のよい年になると考えられているようです。何かチャレンジするのに最適な辰年ですので、良い年にしてほしいと思います。これからも、1冊でも多く本にふれあってみましょう。図書室から、みなさんが健康で、すてきな一年を過ごせるように願っています。

「新年おみくじイベント」
 ☆図書委員会からのお知らせ

・みなさんは年間目標冊数に届きましたか？

・おすすめ本は読み終わりましたか？

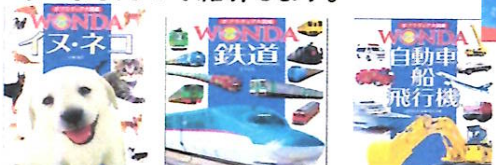
図書委員会では、みなさんの本の貸し出しが増えるように、イベントを行います。ぜひ、図書室にきてください。

「今年の運だめしに挑戦しませんか！」

- ・大々大吉 (もう一冊券2枚 とりゅうの折り紙)
- ・大大吉 (もう一冊券2枚)
- ・大吉 (りゅうの折り紙)
- ・中吉 (もう一冊券)
- ・小吉 (もう一回引けます)
- ・はずれ (ざんねん)

<新しい本の紹介>

2学期に新しい辞典を購入してもらいましたので紹介します。



1914年(大正3年)1月12日に桜島が大噴火して、今年で110年です。噴煙は7000m以上もの高さになり、火砕流が発生し、現在のように大隅半島と陸続きになりました。桜島の魅力をもっと知ってほしい本を紹介します。

☆今年の支干は辰年です。本の中にもたくさんの辰(りゅう)が出てくるよ!りゅうの本の紹介です。

『エルマーのぼうけん・りゅう・16びきのりゅう』
ルース・スタイルス・ガネット 作



エルマーのお話はぜんぶで3冊です。どれも、ゆかいて素晴らしいぼうけんばかりです。まず1話は、男の子エルマーがどうぶつ島にとらわれている、かわいそうなりゅうの子の話をききました。そこでエルマーは助けにかけ、無事にすくいだします。2話はカナリア島で、王さまが「しりたがり病」という病気をめぐって大活躍でした。王さまの病気をなおして、たくさんの宝物を手に入れます。3話はりゅうの子がそらいる高原にある家に帰ってみると、15匹の家族みんなが、人間たちにほら穴に閉じこめられていました。また、エルマーに助けをもとめにいきます。さあ、どんな作戦でりゅうの家族を助け出すのでしょうか?図書室にあるので読んでね!

『龍の子太郎』
松谷 みよ子作



龍になった母をたずねて、龍の子太郎は長く苦しい旅に出る。山こえ谷こえ大冒険のすえにめぐりあった母は…。

『ほしになつたりゅうのきば』
君島 久子 作



ほしになつたりゅうのきば

龍のけんかで裂けてしまった天。若者のサンは白姫の助けをえて、人々の苦難を救いに出かける。夜空の天の川にまつわる壮大な中国民話。

『ちび竜』
工藤直子 文



ちいさなつぶからうまれたちび竜は、たくさんの友だちに出会って『神通力』を身につけ、やがて地球をつつむ大きな存在となる。どんなすがたもぼくである。どんなしごともぼくはやる。ぼくはどこにでもいる。なににでもなる。そして、かならず、きみのこころのなかにいる。心あたたまる本です。

『りゅうのめのなみだ』
浜田 廣介 作



南の方のある国の山の中には、おそろしい竜が住んでいるといわれていました。皆は、竜を恐れ、退治してほしいと願うばかり。ふしぎな男の子があらわれ、その男の子が嫌われている竜をかわいそうに思い、竜を探し出して誕生日のお祝いに来ると誘います。力づくで竜をやっつけるのではなく、やさしい思いやりで、竜が自ら心を改めるようにするところが、この童話の味わい深さです。ぜひ、読んでね!

☆多図書室に本が無いときには、しぶし電子図書館も利用できます。